

## 議事録

### 会議名：第12回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2002年12月7日PM2時14分より
- 場所：広島市青少年センター 第3集会室
- 構成員：32名
- 参加者：産賀敏彦、湯村正仁、木谷直俊、渡辺道徳、橋本健蔵、小倉 肇、大元輝民、森 正典、榊 康守、三浦利雅、木原資裕、草間益良夫、石井博貞、境 英俊、山本城輔、山口真由、轟 項平、池江大輔、長崎 誠、清家弘治、宮川拓将、山口彰吾、原藺昌仁、長尾仁資、竹澤竜平、神垣聡彦、白川哲生、本久博士  
(以下委任状により出席と見做す) 若 良二、山神眞一、谷口直和  
以上31名、欠席者：高澤貞三以上1名  
オブザーバーとして、村井慎治、元山正樹、青陽 静  
上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。  
慣例に倣い会長の産賀敏彦を議長として議事が進められた。

#### ●記録

氏名：清家弘治

E-mail：ube-ihi@sage.ocn.ne.jp (不明点はこちらへ)

### Summary：

- 議題1：第11回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告(連盟役員、学生役員改選の報告)
- 議題3：全日理事会・常任理事会報告(全剣連有功賞、50周年表彰等)
- 議題4：平成15年度大会について(日程及び審判長)
- 議題5：剣友会(全日・中四学連・剣友剣道大会)の報告
- 議題6：その他

## 1. 第11回理事会議事録確認

第11回理事会議事録を異議なく承認した。

## 2. 幹事会報告（連盟役員、学生役員改選の報告）

報告者：山本城輔

前回の幹事会において先輩役員の改選が正式に承認され、また学生役員が別紙のように決定した。

名誉会長	腰山静雄	学生理事	山本城輔、山口真由、
会長	産賀敏彦		轟 項平、清家弘治、
副会長	高澤貞三、湯村正仁、木谷直俊		谷口直和、池江大輔、
相談役	植田 一、石原忠美、		長崎 誠、宮川拓将、
	杉本八郎、五月女武治		山口彰吾、原藺昌仁、
顧問	吉田正麿、堀江幸夫、青木恒男、		長尾仁資、竹澤竜平、
	青野晃治、大森博之、杉尾 剛、		神垣聡彦、白川哲生、
	光原達夫		本久博士
常任監査役	村井慎治		

## 3. 全日理事会・常任理事会報告（全剣連有功賞、50周年表彰等）

報告者：草間益良夫

報告者：木原資裕

報告者：元山正樹

(1) 全日理事会議事録が別紙のとおり報告された。なお、中四国連盟に関係する部分についてはアンダーラインが引いてある。

(2) 事業委員会からの提案事項

①東西対抗選手選考について別紙のように要請された。

中四国学生剣道連盟では今までどおりで選手選考を行う。

②審判員人数見直しおよび大会優秀選手選考委員の選出について別紙のように要請された。

名古屋の大会への審判員派遣については、2名のうち1名は中四負担を全日から依頼され、結果承認されるが、なるべく全日理事会出席理事に審判員をお願いする。

(3) 全日本剣道連盟の有功賞を中四国学生剣道連盟より推薦したところ、受理され全日本学生剣道連盟の方でも受賞が決定した。

全日本剣道連盟 剣道有功賞 青木恒男先輩

全日本剣道連盟 50周年感謝状 福田明正先輩

同じく 青野晃治先輩

全日本学生剣道連盟 50周年感謝状贈呈決定

植田 一先輩、腰山静雄先輩、杉本八郎先輩、五月女武治先輩

高澤貞三先輩、産賀敏彦先輩、湯村正仁先輩、木谷直俊先輩  
草間益良夫先輩、木原資裕先輩、松山大学、OHKスポーツ振興財団  
全日本剣道連盟剣道有功賞については、12月8日新人戦開会式で伝達式を行う。

#### 4. 平成15年度大会について（日程及び審判長）

報告者：石井博貞

平成15年3月10～12日 リーダーズセミナー 玉野スポーツセンター（岡山県玉野市）

平成15年5月18日 選手権大会 松山大学御幸キャンパス・メインアリーナ

審判長 國金義典先輩（香川県）

平成15年5月24～25日 西日本大会

平成15年9月14日 優勝大会 岡山市総合文化体育館

平成15年12月7日 剣友会大会 高松（後に訂正があり、平成15年11月30日に変更）

平成15年12月14日 新人戦 広島県立総合体育館

#### 5. 剣友会（全日・中四学連・剣友剣道大会）の報告

報告者：小倉 肇

- (1) 中四学連剣友会理事会（11月30日）で中四学連剣友会の腰山静雄名誉会長、産賀敏彦会長の改選が正式に承認された。
- (2) 剣友会全日大会は隔年で行われている。今年度は3月2日に慶應義塾大学日吉記念館にて行われる。なお今回は中四国の出場枠を関東連盟に譲っている。
- (3) 中四国剣友剣道大会は、平成15年度は香川、平成16年度は広島で行うことが決定している。
- (4) 中四国学生剣道連盟3大会に年間15万円の援助を決定した。
- (5) 松山（12月1日）での大会記録はパンフレットに掲載した。全日本大会へは若年の部は上位に残った大学に出場条件を加味して決定した。熟年の部は、出場条件に合わなかったので参加者の中から決定した。次回の全日本出場については、来年の高松大会時に検討する。大会運営の面から考えてチーム数を如何に増やすかが課題である。

#### 6. その他

- (1) 腰山先生のご功績を記念して「腰山静雄杯」が創設された。新人戦の男子の部、女子の部に腰山先生よりカップが寄贈された。
- (2) 全日本剣道連盟からの受賞に関して祝賀会を計画する案が提案された。  
来年の5月松山での選手権大会前日に計画する。
- (3) 中四国の来年の大会を50回記念大会（選手権・優勝）とする件に関して、次回（12月7日午後3時半）幹事会にて各大学の意見を取り纏めする予定である。ただし、行うとしても来年の優勝大会時になる。選手権大会は時間的に困難である。


以上の議事を終え、本会は午後3時10分、議長が閉会を宣言して散会した。  
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 14 年 12 月 7 日

中四国学生剣道連盟 第12回理事会

署 名 人 木 原 資 裕

署 名 人 境 英 俊

 次回 MTG

日 時：2003年5月17日

場 所：松山大学御幸キャンパス・メインアリーナ・中2階会議室

以上